



令和5年11月14日

山ノ内町立 山ノ内中学校 学校だより

校長講話 「みんながわかり合っている地球」

1. 勇気を高める月間

4月6日の入学式から、7ヶ月が過ぎました。緊張していた1年生も、今では山中になじんできました。2年生、3年生も先輩として学校をリードしてくれていて、大変嬉しく思います。

さて、11月は後期人権同和教育月間「勇気を高める月間」で、ふれあい委員会の取り組みも始まりました。積極的に取り組んでほしいと思います。

先日、小澤ルームに行った時、ある本と出会いました。それがこれです。

タイトルは、「小澤征爾 指揮者を語る」。この中で小澤さんは音楽への思いを熱く語っていますが、

本の最後に『100年後のみなさんへ』というメッセージが載っていました。そのメッセージを読みたいと思います。



100年後のみなさんへ

えー、100年後の皆さんへのメッセージだったことでこんな信じられないことなんですけど。

100年前の私たちは、僕らが生きているいまのことを、どう思っていたかって、考えてみると、こんな変化を想像しなかったと思う。

飛行機ができたり、コンピューターができたり、文明は驚くほど変わっているわけで。

そう思うと、これから100年後も、うんと違うと思うんです。

そこで、二つだけ変わってほしいことがある。

あの、100年前の人は、100年たったなら戦争がもうなくなっているだろうと思っていたと思う、悲惨なときに。

けど、まだ戦争はなくなっていない。

その戦争のことは、もうほんとに、人間の頭の良さを使ってなくしたらいいと思う。

それともうひとつは、世界はすごく近くなってきている。

どこに誰が住んでいるかがわかって、どれくらい貧乏な人がいるとか、どんな人がどこどこにいるとか。

人種問題なんかも含めて、100年後のみなさんには、ぜひ、そういうことを解決してほしい。世界が、地球が、小さくなったなあ、と思えるように。

みんながわかり合っている地球に、なってもらいたいと思います。

そしたらいいなあ・・・と、そういうみなさんで、いていただきたいと思います。

小澤征爾

この本2012年が出版されたので、今から11年前になります。その頃は、コロナもなかったし、ロシアによるウクライナ侵攻もなかった。しかし、当時も今も、地球上のどこかで人々が争い、命を落としたり、傷ついたりしている人がいます。もちろん皆さんと同じぐらいの子どもたちもそうです。

平和な日本にいと、こうした争いが自分事として考えにくいのが正直なところですが、どの争いも国や人々の考えの違いを理由にしていると思うんです。小澤さんが「その戦争のことは、もうほんとに、人間の頭の良さを使ってなくしたらいい」と語っていますが、文明が発達しても戦争がなくなるという現実がある。しかし、100年と言わず今からなくすることはできないでしょうか。

今年広島を訪問した3年生の発表でも、「一刻も早い戦争のない平和な世界の実現」と「つながれた命を生きる責任があり、自分の命を大切にすること」を語ってくれました。

今、私たちにできることはなんでしょうか。それは、命のバトンを受け継いだという「命の重さ」を一人ひとりが自覚し、互いの違いを認め合う思いやりの心をもって生活することではないでしょうか。

そして人権同和教育月間では、身の回りにあるいじめや差別を許さない心を磨き合って、みんなで勇気を高めていきたいと思います。

「ありがとう」がいっぱい生活をしましょう。

小澤さんが語っている『みんながわかり合っている地球になってもらいたい』を実現するために、私も一日一日を大切に生きていきたいと思います。

2. 11月7日から11月18日まで、秋の読書旬間です。

話は変わりますが、11月7日から18日まで秋の読書旬間です。読書が苦手な人がいたら、まずは自分が興味のある分野の本を手にとって読んでみましょう。誰かのためではなく、自分の心を耕すつもりで読んでみるといいですね。

私からのおすすめ本は、これです。「栗山ノート」です。野球に特化した本ではあるけれど、人がどう生きるべきかのようなことも書かれています。図書館に置いてもらいますので、興味がある人は読んでみてください。

図書館前の廊下には、季節に合わせたいつも素敵なメッセージが掲示されています。図書館をいつも使いやすく毎日整えて下さっている田村先生、当番活動をして下さっている文化委員の皆さんに感謝しながら、本に親しむ、そんな旬間になればと思います。

3. 体調管理・交通事故

インフルエンザとコロナが流行しています。場面に応じてマスクの着脱、手洗い・うがいをして予防しましょう。また、体調が優れない時は、体を休めましょう。

最近、県内外で交通事故のニュースが多くなっています。①飛び出さない（歩行・自転車）②反射材をつける③歩くときに広がらない などに気をつけ交通事故から自分を守りましょう。